その他の予防接種

ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D （年齢）	メーカー/ロット Manufacturer/Lot.No.	接種者署名 Physician	備考 Remarks

＜主なその他のワクチン（2010年11月時点）＞

ヒブ：細菌性髄膜炎や喉頭蓋炎の原因となる細菌を予防。
標準は生後2か月から7か月までに接種開始。4週間毎に3回、1年後に1回の接種。
生後7か月～5歳も接種可能。
小児用肺炎球菌：細菌性髄膜炎や細菌性肺炎、細菌性中耳炎の原因となる細菌を予防。
標準は生後2か月から7か月までに接種開始。
4週間毎に3回、2か月以上あけた1歳以降に1回の接種。
生後7か月～9歳も接種可能。
おたふくかぜ：自然感染では髄膜炎(100人に1～10人)、難聴(1000人に1人)を合併。
1歳以降接種可能。1歳代と小学校入学前年度の2回接種を推奨。
水痘(みずぼうそう)：自然感染では将来、帯状疱疹発症のリスク。一部の人で重症化。
1歳以降接種可能。1歳代と2年後～小学校入学前年度の2回接種を推奨。
ヒトパピローマウイルスワクチン：子宮頚癌を予防。成人後の子宮頚癌検診は必要。
10歳以降の女性で接種可能。1か月毎に2回、半年後に1回接種。
B型肝炎ワクチン：B型肝炎ウイルスによる肝炎と肝癌を予防。
生後すぐから接種可能。4週間毎に2回、半年後に1回接種。
インフルエンザ：自然感染時の重症化を予防。
毎年の接種が必要。年齢により接種回数が変わります。

＊年齢により接種回数が変わるものワクチンもありますが、待つ分のリスクが高まりますので
早めの接種が推奨されます。異なるワクチンの同時接種も大部分は可能です。

その他の予防接種

ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D （年齢）	メーカー/ロット Manufacturer/Lot.No.	接種者署名 Physician	備考 Remarks